

# 平成30年生駒市教育委員会第3回臨時会会議録

1 日 時 平成30年7月31日(火) 午前9時15分～午前9時35分

2 場 所 生駒市役所 403・404 会議室

3 審査事項

(1) 報告第12号 小中学校へのエアコン整備について

(2) その他

4 出席委員

教育長	中 田 好 昭		
委員(教育長職務代理者)	飯 島 敏 文	委員	寺 田 詩 子
委員	神 澤 創	委員	浦 林 直 子
委員	坪 井 美 佐	委員	レイノルズあい
委員	西 井 久 之		

5 事務局職員出席者

教育振興部長	真 銅 宏	生涯学習部長	八 重 史 子
教育振興部次長	吉 川 和 博	教育総務課長	辻 中 伸 弘
教育指導課長	城 野 聖 一	教育指導課課長補佐	滝 澤 治 生
教育総務課(書記)	牧 井 望		

6 傍聴者 0名

○開会宣告

○日程第1 会期・会議時間の決定

○日程第2 議案第12号 小中学校へのエアコン整備について

・小中学校へのエアコン整備について、中田教育長から説明。

<参照：資料1>

(質疑)

坪井委員：中学校のトイレ改修工事が延期になるとのことであったが、延期になるのは何校になるのか。

真銅部長：生駒北小中学校については、新築された当初から洋式トイレに乾式の床であったので、改修の必要はない。また、鹿ノ台中学校についても、大規模改修をした際にトイレも改修したので、今回は対象外である。今回のトイレ改修工事の延期で影響を受けるのは、その2校を除いた6校となる。

中田教育長：トイレ改修工事は一校あたりいくらかかるのか。

真銅部長：トイレの箇所数にもよるが、一校で1億前後の金額になる。

レイルズ委員：トイレは季節を問わず毎日使うもので、一年中生徒達の学校生活に関わってくるが、エアコンの整備については夏にだけ必要なものである。緊急性が高いのはどちらかという判断は、現場の先生方や生徒らに意見を聞いてからにするというのはできないのか。

中田教育長：この方針で必ずしも決定ではないが、おそらくエアコンが優先となるだろう。先ほど説明でもあったが、市役所の財源も家の財布と同じなので、新しいことをするには、どこかを削らねばならない。

坪井委員：エアコン整備はいくらかかるのか、また設置箇所の調査は実施したのか。

中田教育長：財源確保が優先であるので、細かな設置箇所の調査はまだである。

坪井委員：トイレ改修工事の調査は実施したのか。

真銅部長：トイレ改修工事については、施工の前年度に設計業務を行う。詳しい調査についてはその段階で実施する。今年度夏休みに完了する小学校のトイレ改修工事についても、そのような手順で実施してきた。中学校も設計をして、翌年工事に取り掛かる予定であったが、エアコン整備を優先することから、延期となる見込みである。

審議結果 【報告のとおり承認】

○日程第3 その他

- ・ 7月29日明け方に本州を通過した台風12号に伴う被害状況等について、真銅教育振興部長、八重生涯学習部長から説明。

<参照：資料2>

飯島委員：鹿ノ台小学校の外壁モルタルの剥離については、地震でひびが入ったところに、台風によって剥離してしまったというような、地震との関連性は考えられるのか。

辻中課長：学校は古くなってくると、雨水が回って、コンクリートが膨れてくる。そこに台風の強風が吹き、剥離してしまったものと思われる。地震との関連性は考えにくい。

神澤委員：今回被害があった校舎の耐用年数と築年数を伺いたい。

辻中課長：鹿ノ台小学校は昭和54年の建築で、築30年以上経っている。以前は築20年を目処の大規模改修をしていたので、鹿ノ台小学校の校舎も大規模改修工事の時期と言えるが、耐震化やトイレ改修で先延ばしになってしまっており、コンクリートが劣化してきている状況である。耐用年数としては、20年程度で手を入れていくのが最も適切かと思う。

神澤委員：耐震化等の予算についてはとても丁寧にしておられるが、それ以外の予算が上手く回っていない印象を受けてしまう。今後は計画的に予算確保及び執行をしていただけるものかと思うので、よろしく願いしたい。

辻中課長：耐震化は全校完了しているので、地震による倒壊は考えにくい。今後は現存の校舎を長寿命化していくという観点で校舎の改修を進めていく。エアコン整備とトイレ改修工事が落ち着いた段階で、長寿命化計画に基づく長寿命化をしていく。

神澤委員：小学校のブロック塀が崩れて死亡事案があったが、そのようなことは決してあってはいけないので、その意識で願いしたい。

○閉会宣告

午前9時35分 閉会